

### 日本共産党県議団が 質問時間確保などで議長申し入れ

宇野議長(右から2人目)に申し入れをする日本共産党議員団  
4月17日・県議会内



日本共産党千葉県議団は4月17日、宇野裕議長にたいして「議会運営の改善についての申し入れ」を行いました。木名瀬捷司副議長も同席しました。

内容は、委員会などでの十分な審議時間の確保、議会運営にあたって少数会派を尊重すること、常任委員会のインターネット中継など県民に開かれた議会とすること、の3項目です。なかでも解決が求められているのは、常任委員会開会当日の県内視察です。この間、常任委員会を行うその日に委員会としての県内視察を組むことが増えてきています。その結果、出発予定時間までに審議を終わらせることになるため、十分な審議時間が確保できなくなっています。県内視察も調査の一環として重要ですが、委員会の審議時間を確保したうえで、別の日に実施するなどの措置が求められています。

また、千葉県議会では傍聴に関して、乳幼児を連れた傍聴を禁止する規定や、健康上必要な水分補給も禁止しているため、改善を求める声が寄せられていました。申し入れでは、こうした内容についても改善を求めました。

### 船橋地区統一メーデー 平和と民主主義の日本への宣言採択

00時間近い残業容

船橋地区統一メーデーで市議団とあ

いさつする丸山慎一県議(中央)を  
5月1日・天沼弁天公園  
メーデー集会終了後に参加者が市内  
をデモ行進  
5月1日・船橋市本町

日本共産党から船橋市議団とともに丸山慎一県議があいさつ。「戦争をする国づくり」や「月に100時間近い残業容



5月1日、船橋地区統一メーデーが開催されました。集会では「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」とのメーデー参加者の拍手で採択。その後、シュプレヒコールとともにデモ行進が行われました。

「認」など安倍政権の暴走が加速するなか、市民と野党の共同が広がり、千葉県でも各地で市民連合が結成されてきていることを紹介。「この流れをさらに広げ、政治を前に進めましょう」と呼びかけました。

幕張新都心を走っているJR京葉線の「新習志野駅」と「海浜幕張駅」の間に新駅を設置しようという動きが起こっています。今年1月に公表された調査結果では、「駅舎建設費」約130億円、「自由通路設置費」約50億円、工期は駅舎が約6年、自由通路が約7年とされました。

莫大な費用がかかり、工期も長期にわたるのは、設置予定場所の線路が上りと下りで段違いになっていることと、隣りに広がる操車場を渡るための自由通路が150mときわめて長くなるためとされています。

焦点は、180億円もかけて本当に造る必要があるのか、造るとしたら誰が負担するのかということだ。

### 幕張新都心の京葉線 イオンモール目の前に新駅設置の動き

新駅設置は住民の利便性が向上することになりますが、本来、負担するべきJRが建設費を出そうとしていません。だからといって公金投入は許されません。

調査によれば、降車のピークは午後2時から3時、乗車のピークは午後4時から5時とされており、買い物客が多くを占めることが予測されています。新駅設置でもっとも恩恵を受けるのはイオンモールを筆頭にした周辺の企業群ですから、そうしたところが建設費を出すべきです。

一方、自由通路の住民の利用はあまり見込めず、建設そのものに疑義があります。こうした事業への公金投入は県民の納得は得られません。

### 県立千葉ろう学校を視察 求められる雨漏りの対策など

県立千葉ろう学校の視察で説明を受ける参加者  
4月28日・千葉市内



4月28日、聴覚に障害のある子どもたちが通う県立千葉ろう学校(千葉市緑区鎌取町)を視察しました。開校は昭和6年(1931

年)3月28日で86年の歴史があります。校舎には、聞こえづらい子どもたちのために、集会スペースに「磁気ループ」(補聴器に直接音声を送り込んで聞きやすくする装置)が設置されており、廊下には電光掲示板も備えられています。

一方で、緊急通報装置が教室にしかなかったり、外壁の老朽化で雨漏りがしていたりと直さなければならないところもありました。

生徒は、幼稚部(9学級37人)、小学部(15学級61人)、中学部(10学級37人)、高等部(10学級40人)、高等部専攻科(2学級3人)、合計46学級178人となっています。職員数は99人の教諭を始め151人です。(数字は昨年度)

実際に行われている授業も見学させていただき、子どもたちの明るい笑顔や先生たちの真剣な取り組みにふれることができ、貴重な機会となりました。